

1. 平成 30 年度応援訓練 実施概要

1.1 目的

南海トラフ巨大地震や首都直下地震等の発生が懸念される中、これら大規模災害時においても、国民生活や社会経済活動に必要なインフラである水道には迅速な対応が求められている。

公益社団法人日本水道協会では、会員水道事業者相互の応援ルールを定めた「地震等緊急時対応の手引き（平成 25 年 3 月改訂）」（以下、「手引き」という。）に基づき、全国の会員の協力のもと災害発生時の応援活動を実施しているが、関係者間の連携を一層強化するとともに、災害対応能力の更なる向上等を図るため手引きに基づく全国訓練を実施した。

1.2 実施日／訓練場所

平成 30 年度応援訓練の実施日、訓練場所、訓練実施範囲を以下に示す。

1.2.1 訓練実施日

訓練実施日	平成 30 年 11 月 6 日（火）、7 日（水）
-------	----------------------------

1.2.2 訓練場所

水道給水対策本部運営訓練場所 ① 幹事応援水道事業者会議	静岡市上下水道局庁舎 (静岡県静岡市葵区七間町 15 番地の 1)
水道給水対策本部運営訓練場所 ② 応援水道事業者全体会議	ツインメッセ静岡 (静岡県静岡市駿河区曲金三丁目 1 番 10 号)
応急復旧訓練場所	ツインメッセ静岡 (静岡県静岡市駿河区曲金三丁目 1 番 10 号)
応急給水訓練場所	静岡市内 各施設 (ツインメッセ静岡、小学校 4 か所、病院 6 か所)

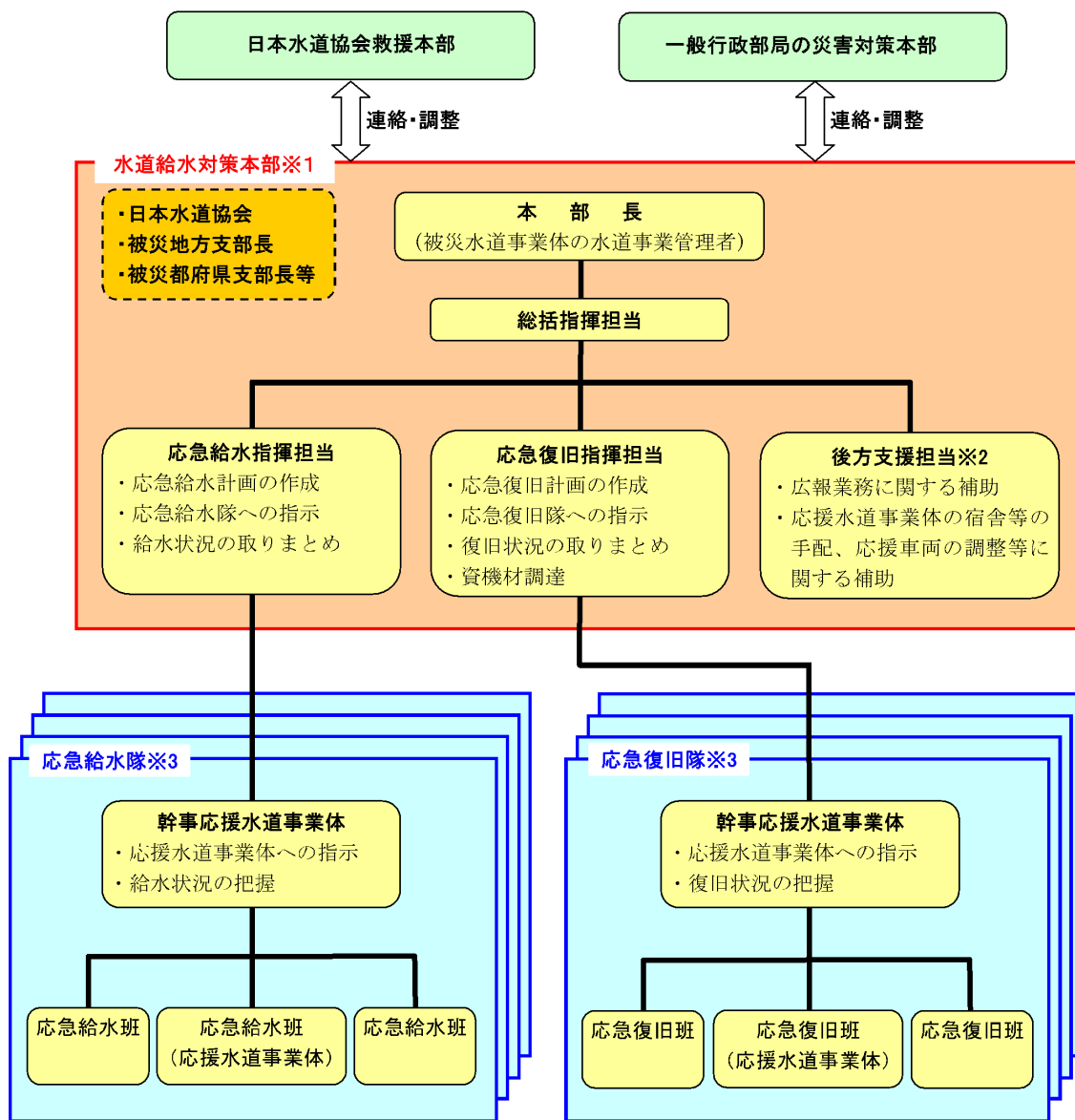
1.2.3 訓練実施範囲

本訓練は、発災後、被災水道事業体に水道給水対策本部が設置されたのち、訓練参加水道事業体が応援要請に基づき、全国から給水車により参集するところから、所属水道事業体へ帰還するまでを実施した。なお、水道給水対策本部の組織運営については、手引き P20 の「図 I - 3 水道給水対策本部組織例」(P1-3) を、応急給水については、手引き P87 の「図Ⅲ - 2 応急給水に係る経過記録のフロー」(P1-4) を、応急復旧については、手引きの P88 の「図Ⅲ - 3 漏水修理に係る経過記録のフロー」(P1-5) を参考にして実施した。

表 1.1 訓練実施項目

応援訓練の項目	手引き
1) 参集	P 14
2) 中継水道事業体活用	P 11, P 12
3) 応援水道事業体受入	P 49
4) 水道給水対策本部運営	P 19
5) 応急給水	P 64～69
6) 応急復旧	P 70～76
7) 報告書作成	P 68 P 74～76
8) 応急給水活動報告・応急復旧活動報告	P 68 P 74～76
9) 帰還	-
10) 災害対策方法等情報交換会	-

※ 地震等緊急時対応の手引き（平成 25 年 3 月改訂）については、日本水道協会ホームページにてダウンロード可能。（http://www.jwwa.or.jp/upfile/upload_file_20130325002.pdf）



- ※1 水道給水対策本部は、被災水道事業者を中心として日本水道協会、被災地方支部長及び被災都府県支部長等により構成されることも想定される。
- ※2 後方支援担当は、水道給水対策本部の各担当が実施する応急給水・応急復旧等の応急対策活動を支援するため必要な活動を行う。
- ※3 応急給水隊・応急復旧隊は、被害の状況や被災水道事業者における事業所の配置等を考慮して設置する。本図は応援水道事業者が応急活動を実施する場合の例である。

図 1.1 水道給水対策本部組織例
(出典：地震等緊急時対応の手引き、P20、図 I - 3)

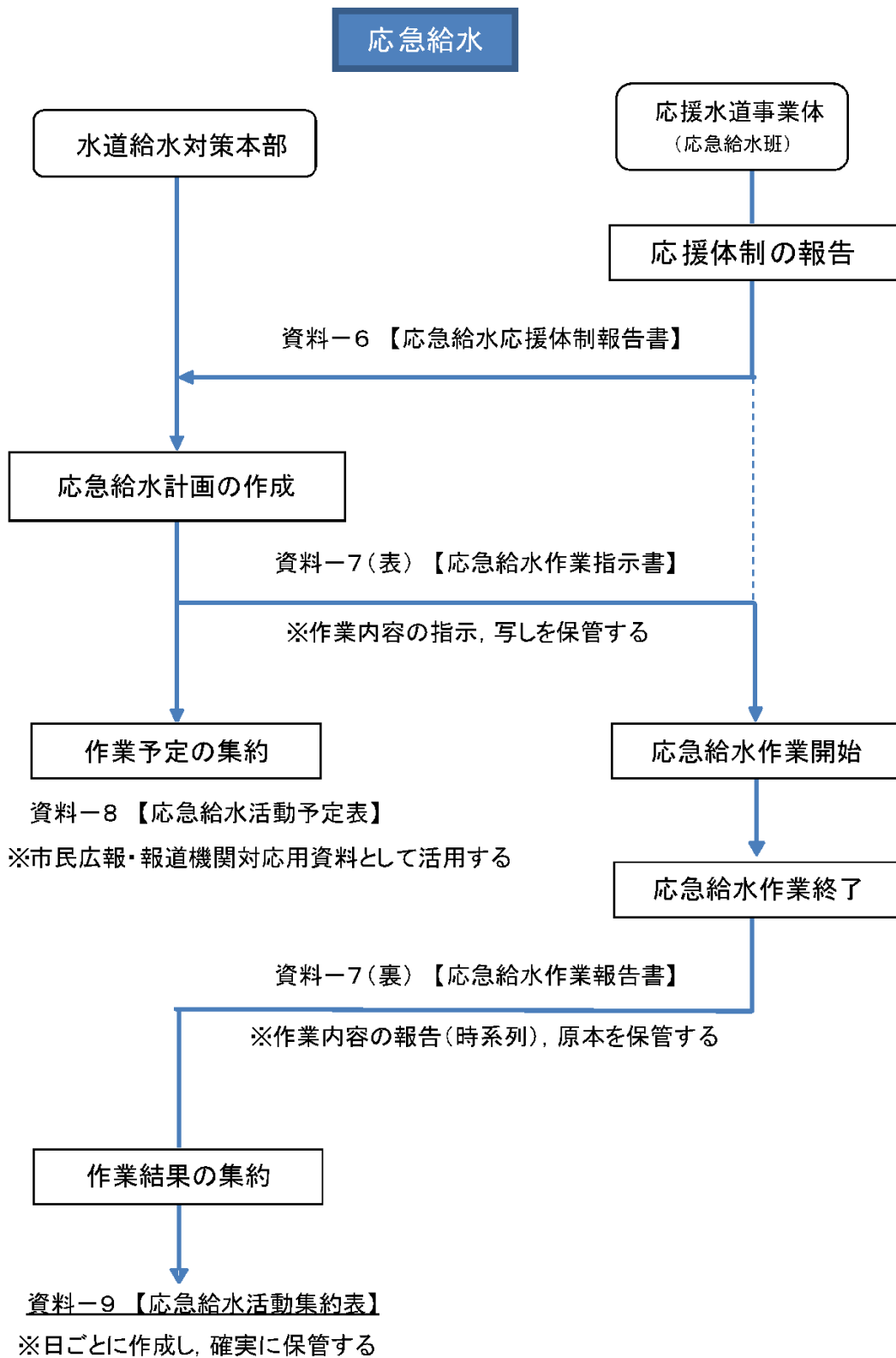


図 1.2 応急給水に係る経過記録のフロー
(出典：地震等緊急時対応の手引き、P87、図Ⅲ - 2)

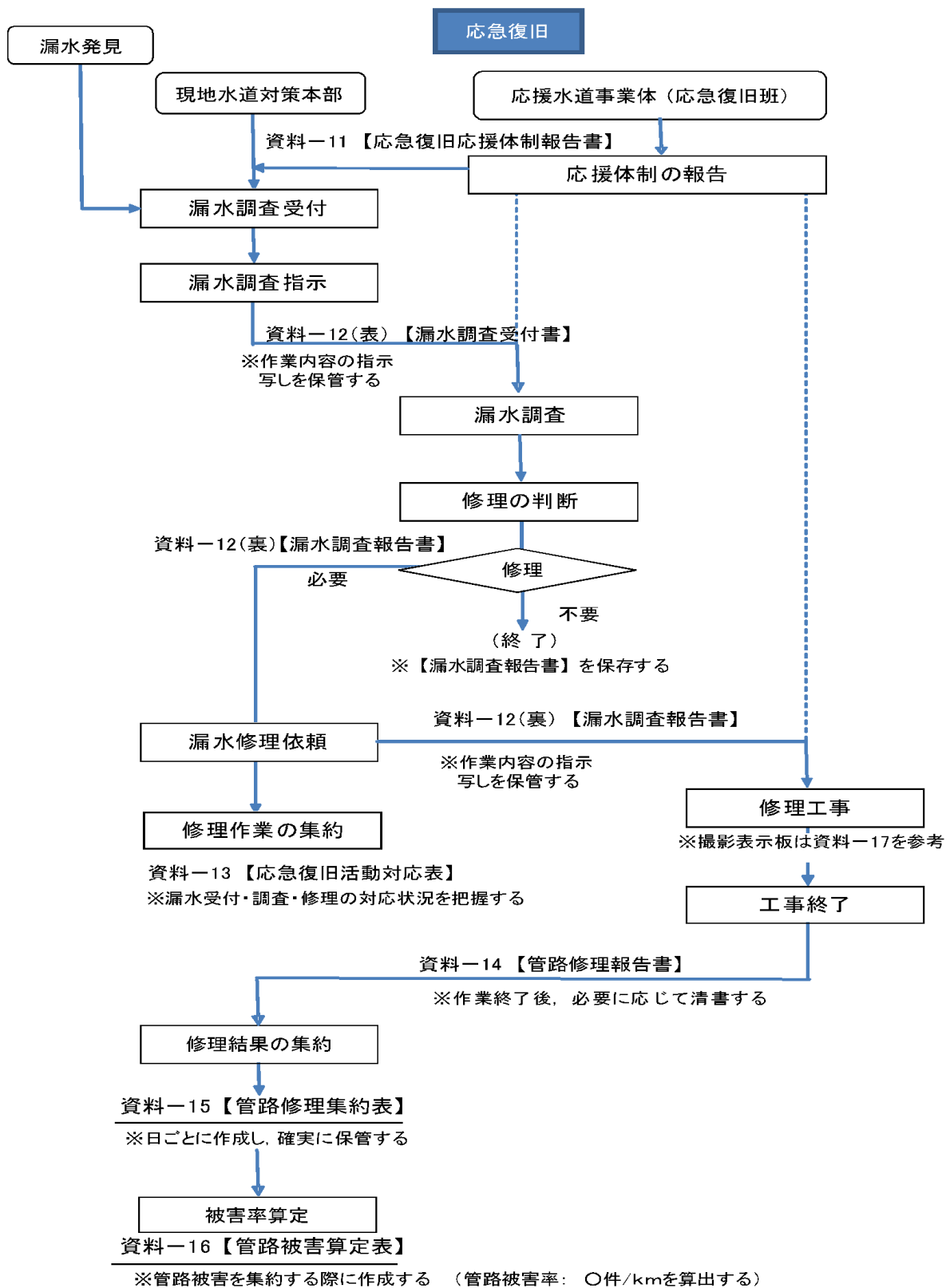


図 1.3 漏水修理に係る経過記録のフロー
 (出典：地震等緊急時対応の手引き、P88、図Ⅲ - 3)

1.3 訓練の想定

本訓練における想定地震・被災水道事業体・被害状況等は以下のとおりである。

1.3.1 想定地震

訓練における想定地震は以下のとおりとした。

発 災 日 時	平成 30 年 11 月某日 ※ 地震発生日時は、各都府県支部・地区協議会で想定
震 源 地	静岡市域を震源とする大地震

1.3.2 被災水道事業体

本訓練では、静岡市上下水道局を被災水道事業体と想定し、各訓練メニューを実施する。

1.3.3 被災水道事業体の状況

被災水道事業体（静岡市上下水道局）の被害状況及び参集訓練開始までの前提を以下に示す。

- ・ 静岡市内で浄水施設や管路に多数の被害が発生
 - ・ 静岡市内で大規模な断水が発生
 - ・ 静岡市上下水道局が水道給水対策本部を立ち上げる
 - ・ 静岡県支部長（静岡市）から中部地方支部長（名古屋市）へ応急給水隊 56 班及び応急復旧隊 15 班の応援要請有り
 - ・ 日本水道協会本部は中部地方支部長と協議し、救援本部を立ち上げる
 - ・ 中部地方支部長から救援本部へ応急給水隊 47 班（中部地方支部内 9 班を除く）及び応急復旧隊 10 班（中部地方支部内 5 班を除く）の応援要請有り
 - ・ 救援本部から各地方支部長（中部地方支部を除く）へ応援要請を行う
 - ・ 救援本部から中継水道事業体を必要とする応援地方支部へ中継水道事業体情報の提供を行う
- ※ 上記については、平成 29 年度情報伝達訓練において実施済みである

1.4 訓練参加水道事業体、機関等

1.4.1 訓練参加水道事業体、機関等

本訓練に参加した水道事業体等の概要は以下のとおりである。

1) 来賓

・厚生労働省	医薬・生活衛生局水道課課長補佐	大 桶 信 行
・首都大学東京	都市環境学部特任教授	小 泉 明
・金沢大学	理工研究域環境デザイン学系(地震工学)教授	宮 島 昌 克
		計 3 名

2) 開催地及び日本水道協会関係者

・名古屋市	水道事業管理者	宮 村 喜 明
・静岡市	市長	田 辺 信 宏
・ 〃	公営企業管理者	大 石 清 仁
・日本水道協会	理事長	吉 田 永
		計 4 名

3) 訓練実施方法等検討小委員会委員

・札幌市水道局 (代理)	給水部計画課危機管理担当係長	猪 子 敬之介
・仙台市水道局	給水部計画課長	宮 野 知 生
・東京都水道局	総務部水道危機管理専門課長	保 永 政 幸
・横浜市水道局	総務部総務課長	本 田 聡
・名古屋市上下水道局	経営本部企画経理部主幹(防災・危機管理)	西 川 幸 雄
・新潟市水道局	経営企画部参事 (経営管理課長)	倉 元 誠
・静岡市上下水道局	水道部水道企画課参与兼水道企画課長	杉 本 光 生
・大阪市水道局	総務部危機管理担当課長	佐 野 洋 人
・豊中市上下水道局	経営部総務課主幹	大 橋 貴
・神戸市水道局	事業部東部センター工事担当課長	松 田 康 孝
・広島市水道局	企画総務課長	村 上 裕 之
・岡山市水道局	企画総務課課長代理	繁 田 寛 喜
・福岡市水道局	総務部総務課長	江 崎 智 美
・全国管工事業協同組合連合会	災害対策担当理事	原 宣 幸
		計 14 名

4) 訓練参加水道事業体

- ・ 62 応援水道事業体
- ・ 1 被災水道事業体

計 63 水道事業体

5) 視察参加水道事業者

- ・ 87 水道事業者

計 87 水道事業者

6) 参加機関等

- ・ 全国管工事業協同組合連合
- ・ 日本水道工業団体連合会
- ・ 日本ダクティル鉄管協会
- ・ 日本水道協会

計 4 団体

7) 訓練参加小学校

- ・ 静岡市立宮竹小学校
- ・ 静岡市立賤機南小学校
- ・ 静岡市立長田南小学校
- ・ 静岡市立清水有度第一小学校

計 4 か所

8) 訓練参加病院

- ・ 静岡市立清水病院
- ・ 静岡県立こども病院
- ・ 静岡県立総合病院
- ・ 静岡市立静岡病院
- ・ 静岡赤十字病院
- ・ 静岡済生会総合病院

計 6 か所

表 1.2 訓練参加水道事業体一覧表

地方支部	水道事業体名	参加人数				車両構成			備考
		班	指揮	給水	復旧	指揮	給水	サポート	
北海道 地方支部	札幌市	1-1	2人	-人	-人	1台	-台	-台	地方支部長
		1-2	-人	4人	-人	-台	1台	1台	
	千歳市	1-3	-人	4人	-人	-台	1台	1台	
	釧路市	1-4	-人	4人	-人	-台	1台	1台	
	室蘭市	1-5	-人	2人	-人	-台	1台	-台	混成班
	苫小牧市		-人	2人	-人	-台	-台	1台	
	函館市	1-6	-人	6人	-人	-台	1台	1台	
	旭川市	1-7	-人	4人	-人	-台	1台	1台	
支部計 (7班) (28人) (7事業体)		1班 2人	6班 26人	0班 0人	1台	6台	6台		
東北 地方支部	仙台市	2-1	2人	-人	-人	-台	-台	-台	地方支部長
		2-2	-人	4人	-人	-台	1台	1台	
	石巻地方広域水道企業団	2-3	-人	5人	-人	-台	1台	1台	
	郡山市	2-4	-人	4人	-人	-台	1台	1台	
	青森市	2-5	-人	4人	-人	-台	1台	1台	
	山形市	2-6	-人	4人	-人	-台	1台	1台	
	秋田市	2-7	-人	6人	-人	-台	1台	1台	
	盛岡市	2-8	-人	4人	-人	-台	1台	1台	
支部計 (8班) (33人) (7事業体)		1班 2人	7班 31人	0班 0人	0台	7台	7台		
関東 地方支部	横浜市	3-1	3人	-人	-人	1台	-台	-台	地方支部長 (B-2)
		3-2	-人	3人	4人	-台	1台	1台	
	東京都	3-3	-人	3人	4人	-台	1台	1台	(A-5)
	川崎市	3-4	-人	5人	-人	-台	1台	1台	
	千葉県	3-5	-人	5人	-人	-台	1台	1台	
	さいたま市	3-6	-人	4人	-人	-台	1台	1台	
	前橋市	3-7	-人	4人	-人	-台	1台	1台	
	宇都宮市	3-8	-人	4人	-人	-台	1台	1台	
	日立市	3-9	-人	2人	2人	-台	1台	1台	(A-2)
	中央市	3-10	-人	2人	-人	-台	1台	-台	
支部計 (10班) (45人) (9事業体)		1班 3人	9班 32人	3班 10人	1台	9台	8台		
中部 地方支部	名古屋市	4-1	3人	-人	-人	1台	-台	-台	地方支部長 (A-1)
		4-2	-人	3人	3人	-台	1台	1台	
	豊橋市	4-3	-人	-人	4人	-台	-台	1台	混成班 (B-3)
	新城市		-人	2人	-人	-台	1台	-台	
	津市	4-4	-人	2人	-人	-台	-台	1台	混成班
	桑名市		-人	3人	-人	-台	1台	-台	
	岐阜市	4-5	-人	6人	-人	-台	1台	1台	
	福井市	4-6	-人	2人	-人	-台	1台	-台	混成班
	敦賀市		-人	2人	-人	-台	-台	1台	
金沢市	4-7	-人	2人	2人	-台	1台	1台	(A-6)	

地方支部	水道事業体名		参加人数			車両構成			備考	
			班	指揮	給水	復旧	指揮	給水		サポ-ト
中部 地方支部	富山市		4-8	-人	4人	-人	-台	1台	1台	
	長野市		4-9	-人	2人	5人	-台	1台	1台	(A-4)
	新潟市		4-10	-人	3人	3人	-台	1台	1台	(A-3)
	支部計 (10班) (51人) (12事業体)			1班 3人	9班 31人	5班 17人	1台	9台	9台	
関西 地方支部	大阪市		5-1	3人	-人	-人	1台	-台	-台	地方支部長 (B-6)
			5-2	-人	3人	2人	-台	1台	1台	
	豊中市		5-3	-人	4人	-人	-台	1台	1台	
	京都市		5-4	-人	6人	-人	-台	1台	1台	
	西宮市		5-5	-人	4人	-人	-台	1台	1台	
	奈良市		5-6	-人	5人	-人	-台	1台	1台	
	大津市		5-7	-人	4人	-人	-台	1台	1台	
	和歌山市		5-8	-人	4人	-人	-台	1台	1台	
支部計 (8班) (35人) (7事業体)			1班 3人	7班 30人	1班 2人	1台	7台	7台		
中国四国 地方支部	広島市		6-1	2人	-人	-人	1台	-台	-台	地方支部長 (B-5)
			6-2	-人	2人	2人	-台	1台	-台	
	呉市		6-3	-人	2人	2人	-台	1台	1台	(A-7)
	岡山市	6-4		-人	2人	-人	-台	1台	-台	混成班
	倉敷市			-人	2人	-人	-台	-台	1台	
	米子市	6-6		-人	2人	-人	-台	1台	-台	混成班
	鳥取市			-人	2人	-人	-台	-台	1台	
	松江市		6-7	-人	2人	2人	-台	1台	1台	(B-4)
	香川県広域水道企業団		6-8	-人	5人	-人	-台	1台	1台	
	松山市		6-9	-人	2人	2人	-台	1台	1台	(B-7)
	徳島市		6-10	-人	2人	2人	-台	1台	1台	(B-8)
	高知市		6-11	-人	2人	2人	-台	1台	1台	(B-1)
支部計 (10班) (39人) (11事業体)			1班 2人	9班 25人	6班 12人	1台	9台	8台		
九州 地方支部	福岡市		7-1	3人	-人	-人	1台	-台	-台	地方支部長
			7-2	-人	2人	-人	-台	1台	-台	
	北九州市		7-3	-人	4人	-人	-台	1台	1台	
	佐賀市		7-4	-人	2人	-人	-台	1台	-台	
	長崎市		7-5	-人	2人	-人	-台	1台	-台	
	熊本市		7-6	-人	2人	-人	-台	1台	-台	
	大分市		7-7	-人	2人	-人	-台	1台	-台	
	宮崎市		7-8	-人	3人	-人	-台	1台	-台	
	鹿児島市		7-9	-人	5人	-人	-台	1台	1台	
	那覇市		7-10	-人	3人	-人	-台	1台	-台	
支部計 (10班) (28人) (9事業体)			1班 3人	9班 25人	0班 0人	1台	9台	2台		
計	63班 259人	62事業体 109台	7班 18人	56班 200人	15班 41人	6台	56台	47台		

※応急復旧班の班番号は、備考の()書きに示す。

※参加水道事業体数及び訓練参加者数については、被災水道事業体（静岡市上下水道局）を除く。

1.4.2 中継水道事業体の活用

本訓練において中継水道事業体を活用した参加水道事業体の概要は以下のとおりである。

区分	活用事業体(班)	中継水道事業体(受入)
北海道地方支部	札幌市、千歳市、室蘭市・苫小牧市、函館市、旭川市	茨城県、敦賀市、久喜市
中国四国地方支部	広島市、呉市、岡山市・倉敷市、米子市・鳥取市、松江市、香川県広域水道企業団、松山市、徳島市、高知市	京都市、名古屋市
計	14 班	5 事業体

※静岡市の前泊・後泊は、中継水道事業体に含まない。

※東北、関東、中部、九州地方支部については、中継水道事業体を利用しない。

(単位:台)

事業体名	11月4日	11月5日	11月7日	計
	給水車	給水車	給水車	給水車
① 茨城県	1	-	-	1
② 敦賀市	-	2	-	2
③ 久喜市	-	2	-	2
④ 京都市	-	9	-	9
⑤ 名古屋市	-	-	9	9
計	1	13	9	23

※サポートカーは宿泊先周辺の駐車場等に駐車

1.5 訓練で使用した様式

1.5.1 様式一覧

訓練で使用した様式は以下のとおりである。

表 1.3 訓練で使用した様式

資料番号	様式名	使用方法・記載する情報等
6	応急給水応援体制報告書	・ 応急給水の応援隊が被災地到着時及び応援隊構成変更時に水道給水対策本部へ報告する際に使用 ＜記載事項＞ 応援隊連絡先、応援隊構成
7 (表)	応急給水作業指示書	・ 水道給水対策本部（幹事応援水道事業体）が応急給水の作業内容の指示に使用 ＜記載事項＞ 作業指示内容、作業指示者、現地応急給水隊
7 (裏)	応急給水作業報告書	・ 応急給水班が応急給水の作業活動内容を報告する際に使用 ＜記載事項＞ 作業内容
8	応急給水活動予定表	・ 資料 - 7（表）に基づき、水道給水対策本部が給水活動の状況を把握するために使用 ＜記載事項＞ 水道事業体名、連絡責任者、作業員数等
9	応急給水活動集約表	・ 資料 - 7（裏）に基づき、水道給水対策本部が給水活動を集約するために使用 ＜記載事項＞ 水道事業体名、給水車台数、主な給水場所等
10	水道施設被害状況等調査票	・ 発災後の先遣調査隊による調査、職員によるパトロール及び住民からの通報等に基づく被害情報を整理し、基幹施設の被害を把握する際に使用
11	応急復旧応援体制報告書 (表・裏)	・ 応急復旧の応援隊が被災地到着時及び応援隊構成変更時に水道給水対策本部へ提出する際に使用 ＜記載事項＞ 応援隊連絡先、応援隊構成
13	応急復旧活動対応表	・ 水道給水対策本部が漏水通報の状況、漏水調査班、管路修理班の動向を把握する際に使用 ＜記載事項＞ 漏水受付、漏水調査、漏水修理の状況等
14	管路修理報告書 (表・裏)	・ 作業現場ごとに、応援水道事業体が修理状況等を報告する際に使用 ＜記載事項＞ 被害施設、被害状況、配管図（施工前・後）等
15	管路修理集約表	・ 資料 - 14 を集約する際に使用
16	管路被害算定表	・ 資料 - 14 に基づき、水道給水対策本部が管種、口径、被害形態別の管路被害を把握する際に使用

1.5.2 様式集

1) 資料 - 6

資料 - 6

応急給水応援体制報告書

作成日	平成 年 月 日	派遣期間	月 日()~ 月 日()
-----	----------	------	----------------

記入上の留意事項	・ 応援隊到着時、応援隊構成変更時に作成し、本部に提出
----------	-----------------------------

○応援隊連絡先

事業体名		応急給水班数	班
責任者	氏 名 : 連絡先電話 :	車両総数	台
給水要員	氏 名		
給水要員	氏 名		
給水要員	氏 名		

○応援隊構成

人 員	給水用具	車両台数 (タンク容量)	備 考
人			
人			
人			
人			
合 計			
人			

2) 資料 - 7 (表)

資料 - 7(表)

応急給水作業指示書

作成日	平成 年 月 日	備考	
-----	----------	----	--

記入上の 留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・給水車ごとに作成 ・作業開始前にコピーを本部に提出 ●印箇所：本部が記入 ○印箇所：応急給水班が記入
--------------	--

●作業指示内容

事業体名					
給水車	号車	タンク容量	m ³	加圧	有・無
給水場所					
給水基地					
特記事項					

●作業指示者 (本部)

事業体名	
担当者	氏 名： 連絡先電話：

○現地応急給水隊 (応急給水班)

事業体名		作業員数	人
連絡責任者	氏 名： 連絡先電話：	車両ナンバー	—

3) 資料 - 7 (裏)

応急給水作業報告書

資料 - 7(裏)

作成日	平成 年 月 日	備考	
-----	----------	----	--

記入上の 留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・時系列順に作業内容を記入 ・作業終了後、本部に提出
--------------	---

○作業内容 開始時間 __:__:__ 終了時間 __:__:__

給水時間又は注水時間	給水場所又は 給水基地	注水量	給水量	備考
1	: ~ :	m ³	m ³	
2	: ~ :	m ³	m ³	
3	: ~ :	m ³	m ³	
4	: ~ :	m ³	m ³	
5	: ~ :	m ³	m ³	
6	: ~ :	m ³	m ³	
7	: ~ :	m ³	m ³	
8	: ~ :	m ³	m ³	
9	: ~ :	m ³	m ³	
10	: ~ :	m ³	m ³	
11	: ~ :	m ³	m ³	
12	: ~ :	m ³	m ³	
13	: ~ :	m ³	m ³	
14	: ~ :	m ³	m ³	
15	: ~ :	m ³	m ³	
作業時間合計	時間 分			
給水量合計	m ³			
注水量合計	m ³			
特記事項 (給水場所の様子等を記入)				

4) 資料 - 8

資料 - 8

応急給水活動予定表

作成日	平成 年 月 日	備考					
記入上の留意点	・当日の給水作業開始直後、作業指示書【資料-7(表)】を基に本部が作成						
	・給水活動の状況把握が目的						
作成者	氏 名 :						
	連絡先電話 :						
No.	事業体	代表者氏名 連絡先番号	作業員数 (人)	タンク容量 (m^3)	加圧	給水場所	備考
1					有・無		
2					有・無		
3					有・無		
4					有・無		
5					有・無		
6					有・無		
7					有・無		
8					有・無		
9					有・無		
10					有・無		
11					有・無		
12					有・無		
13					有・無		
14					有・無		
15					有・無		
計	応援事業体数	給水車(台)	名	m^3	有 台(m^3) 無 台(m^3)		

5) 資料 - 9

資料 - 9

応急給水活動集約表

作成日	平成 年 月 日	備考			
記入上の留意点	・当日の給水作業開始直後、作業指示書【資料-7(裏)】を基に本部が作成				
	・給水活動の状況把握が目的				
作成者	氏 名 :				
	連絡先電話 :				
No.	事業体	給水車台数	主な給水場所	給水量	備考 (給水車の内訳等を記入)
1				m ³	
2				m ³	
3				m ³	
4				m ³	
5				m ³	
6				m ³	
7				m ³	
8				m ³	
9				m ³	
10				m ³	
11				m ³	
12				m ³	
13				m ³	
14				m ³	
15				m ³	
計				m ³	

6) 資料 - 10

資料 - 10

水道施設被害状況等調査票

平成 年 月 日 時 現在

被災地事業体名					水道事業数		上水道
被災地区名					水道事業数		簡易水道
地域形状		山間部 <input type="checkbox"/>	市街地 <input type="checkbox"/>	沿岸部 <input type="checkbox"/>	飲料水供給施設		
全給水戸数	戸	全給水人口	人	地震名			
断水戸数	戸	断水人口	人	報告者			
復旧戸数	戸	復旧人口	人	連絡先	電話番号	携帯	Fax
応急給水状況 (記入欄が不足する場合は、別紙作成など適宜対応すること)							
給水車台数	給水車容量	給水地区又は施設	配車事業体	注水場所	応急給水時間	給水予定期間	
今後の見通し							
被害状況調査				応急復旧状況			
	被害状況	補足コメント	復旧状況	復旧時期	補足コメント	資機材調達等	
水源・取水施設	未確認 <input type="checkbox"/>		未定 <input type="checkbox"/>				
	被害大 <input type="checkbox"/>		計画 <input type="checkbox"/>				
	被害小 <input type="checkbox"/>		復旧中 <input type="checkbox"/>				
	被害無 <input type="checkbox"/>		完了 <input type="checkbox"/>				
導水施設	未確認 <input type="checkbox"/>		未定 <input type="checkbox"/>				
	被害大 <input type="checkbox"/>		計画 <input type="checkbox"/>				
	被害小 <input type="checkbox"/>		復旧中 <input type="checkbox"/>				
	被害無 <input type="checkbox"/>		完了 <input type="checkbox"/>				
浄水施設	未確認 <input type="checkbox"/>		未定 <input type="checkbox"/>				
	被害大 <input type="checkbox"/>		計画 <input type="checkbox"/>				
	被害小 <input type="checkbox"/>		復旧中 <input type="checkbox"/>				
	被害無 <input type="checkbox"/>		完了 <input type="checkbox"/>				
送水施設	未確認 <input type="checkbox"/>		未定 <input type="checkbox"/>				
	被害大 <input type="checkbox"/>		計画 <input type="checkbox"/>				
	被害小 <input type="checkbox"/>		復旧中 <input type="checkbox"/>				
	被害無 <input type="checkbox"/>		完了 <input type="checkbox"/>				
配水施設	未確認 <input type="checkbox"/>		未定 <input type="checkbox"/>				
	被害大 <input type="checkbox"/>		計画 <input type="checkbox"/>				
	被害小 <input type="checkbox"/>		復旧中 <input type="checkbox"/>				
	被害無 <input type="checkbox"/>		完了 <input type="checkbox"/>				
配水管路	未確認 <input type="checkbox"/>		未定 <input type="checkbox"/>				
	被害大 <input type="checkbox"/>		計画 <input type="checkbox"/>				
	被害小 <input type="checkbox"/>		復旧中 <input type="checkbox"/>				
	被害無 <input type="checkbox"/>		完了 <input type="checkbox"/>				
給水施設	未確認 <input type="checkbox"/>		未定 <input type="checkbox"/>				
	被害大 <input type="checkbox"/>		計画 <input type="checkbox"/>				
	被害小 <input type="checkbox"/>		復旧中 <input type="checkbox"/>				
	被害無 <input type="checkbox"/>		完了 <input type="checkbox"/>				
補足事項							
高速・一般道路状況など							
携帯電話等の通信状況							
宿泊施設の営業状況							
コンビニ等の営業状況							
給油スタンドの営業状況							
その他							

7) 資料 - 11 (表)

資料 - 11(表)

応急復旧応援体制報告書

作成日	平成 年 月 日	派遣期間	月 日()~ 月 日()
-----	----------	------	----------------

記入上の留意事項	・ 応援隊到着時、応援隊構成変更時に作成し、水道給水対策本部に提出
----------	-----------------------------------

○応援隊連絡先

事業体名		通水及び漏水調査班数	班
総括責任者	氏 名 : 連絡先電話 :	応急復旧班数	班

○応援隊構成

作業内容	人員	持参資機材等	備考
総括班 (連絡調整)	人		
総括班 (記録)	人		
通水及び漏水調査班 (通水及び漏水調査)	人		責任者 : 連絡先 :
修理班 (配水管、給水管修理)	人		
修理班 (配水管、給水管修理)	人		
合計	人		

8) 資料 - 11 (裏)

資料 - 11(裏)

月 日提出

		応急復旧班	
総括班	氏名 (責任者)	携帯電話番号	派遣期間 (予定) 月 日 () ~ 月 日 ()
通水及び漏水調査班	(責任者)		月 日 () ~ 月 日 ()
修理班 (水道建設)	(責任者)		月 日 () ~ 月 日 ()

9) 資料 - 13

資料 - 13

応急復旧活動対応表

活動日	平成 年 月 日	被災事業体名		記入上の留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・当日の受付状態、漏水調査班、管路修理班の動向を把握することが目的 ・PCで管理することで住所検索等が可能となり、重複修理依頼等を防止することが可能
記入責任者	氏名：	連絡先電話：			

整理番号	漏水受付							漏水調査			漏水修理				備考
	日時	事業体名 受付者	漏水場所					調査日	事業体名・氏名 連絡先電話	修理	依頼日 時間	完了日 時間	事業体名・監督員 連絡先電話	施工業者名・担当者 連絡先電話	
			市(区)	町	丁目	番地	住宅・地番名								
									要・不要						
									要・不要						
									要・不要						
									要・不要						
									要・不要						
									要・不要						
									要・不要						
									要・不要						
									要・不要						
									要・不要						
									要・不要						
									要・不要						
									要・不要						
									要・不要						
									要・不要						
									要・不要						

10) 資料 - 14 (表)

管路修理報告書

資料 - 14(表)

記入上の 留意事項	・施工前と施工後の配管図は、可能な限り詳細に記入
--------------	--------------------------

整理番号										
施工期間	年	月	日	曜日	時 分	～	月	日	曜日	時 分
監督者	事業体名：	氏名：		電話：						
施工業者 (代表者)	施工業者名：	氏名：		電話：						
場 所										
被害施設	<input type="checkbox"/> 管路 <input type="checkbox"/> 属具 <input type="checkbox"/> その他 ()									
修理管路	漏水管路	<input type="checkbox"/> 導水管 <input type="checkbox"/> 送水管 <input type="checkbox"/> 配水管 <input type="checkbox"/> 給水管 (メーター上流) <input type="checkbox"/> 給水管 (メーター下流)								
	口 径									
	材 質	<input type="checkbox"/> DIP <input type="checkbox"/> CIP <input type="checkbox"/> SP <input type="checkbox"/> VP <input type="checkbox"/> ポリエチレン <input type="checkbox"/> LP <input type="checkbox"/> その他 ()								
	継手形式	<input type="checkbox"/> A形 <input type="checkbox"/> K形 <input type="checkbox"/> T形 <input type="checkbox"/> S、SII形 <input type="checkbox"/> NS形 <input type="checkbox"/> KF、UF形 <input type="checkbox"/> フランジ形 <input type="checkbox"/> 溶接 <input type="checkbox"/> ねじ込み <input type="checkbox"/> TS <input type="checkbox"/> 融着 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> その他 ()								
属 具	<input type="checkbox"/> 消火栓 <input type="checkbox"/> 空気弁 <input type="checkbox"/> バルブ・止水栓 <input type="checkbox"/> サドル分水栓 <input type="checkbox"/> その他 ()									
被害状況	管路	<input type="checkbox"/> タテ割れ <input type="checkbox"/> ヨコ割れ <input type="checkbox"/> 折れ <input type="checkbox"/> 破断 <input type="checkbox"/> その他 ()								
	継手	<input type="checkbox"/> 抜け <input type="checkbox"/> ズレ <input type="checkbox"/> 割れ <input type="checkbox"/> ゴムリング (切断、ズレ) <input type="checkbox"/> その他 ()								
	属具	<input type="checkbox"/> 機能不全 <input type="checkbox"/> 抜け <input type="checkbox"/> 割れ <input type="checkbox"/> 変形 <input type="checkbox"/> ズレ <input type="checkbox"/> その他 ()								
地盤状況	道路状況	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 陥没 <input type="checkbox"/> 隆起 <input type="checkbox"/> 割裂 <input type="checkbox"/> その他 ()								
	クラック幅	<input type="checkbox"/> 管直角方向 <input type="checkbox"/> 水平方向 <u>25cm</u> (1cm 以上を記入)								
		<input type="checkbox"/> 段差 (沈下量) <u> </u> cm (漏洩位置から 15m 範囲内 (全体で 30m))								
	地盤の傾斜	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 管軸方向 <input type="checkbox"/> 管直角方向 (傾斜角度 = °)								
液状化	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し ※近くに噴砂跡はあるか							盛土	<input type="checkbox"/>	
備 考										

11) 資料 - 14 (裏)

資料 - 14(裏)

配管図 (施工前)

配管図 (施工後)

12) 資料 - 15

資料 - 15

管路修理集約表

活動日		被災事業体名：
記入者	氏名：	連絡先電話：

記入上の留意事項 資料-14 管路修理報告書の集約に使用する

No. _____

伝票番号	管路区分	管路属性			被害形態		被害施設住所					施工日		施工者			備考
		管種	口径	継手	管路	属具	市(区)	町	丁目	番地	住宅・地先名	開始	完了	地方支部名	事業体名	業者名	

導水管
送水管
配水管
給水管
(上・下流)
から記入する

DIP、CIP
SP、VP、PE
等を記入

A型、K型
T型、NS型
溶接、ねじ
TS、RR
等を記入

継手抜け
継手漏水
管体破損
属具破損
その他
不明
等を記入

13) 資料 - 16

資料 - 16

管路被害算定表 (管種・口径・被害形態別)

作成日時	月 日 : 時現在	被災事業体名:	記入上の留意事項	管種・継手形状ごとに集計する。
記入者	氏名:	連絡先電話:		

管種・継手															
被害形態	継手抜け	継手漏水	継手破損	管体破損	属具破損	その他	不明	継手抜け	継手漏水	継手破損	管体破損	属具破損	その他	不明	
口径	40mm														
	50mm														
	75mm														
	100mm														
	125mm														
	150mm														
	200mm														
	250mm														
	300mm														
	350mm														
	400mm														
	500mm														
	600mm														
	700mm														
	800mm														
	mm														
mm															
mm															
小計 (件)															
管路延長 (k m)															
被害率 (件/k m)															

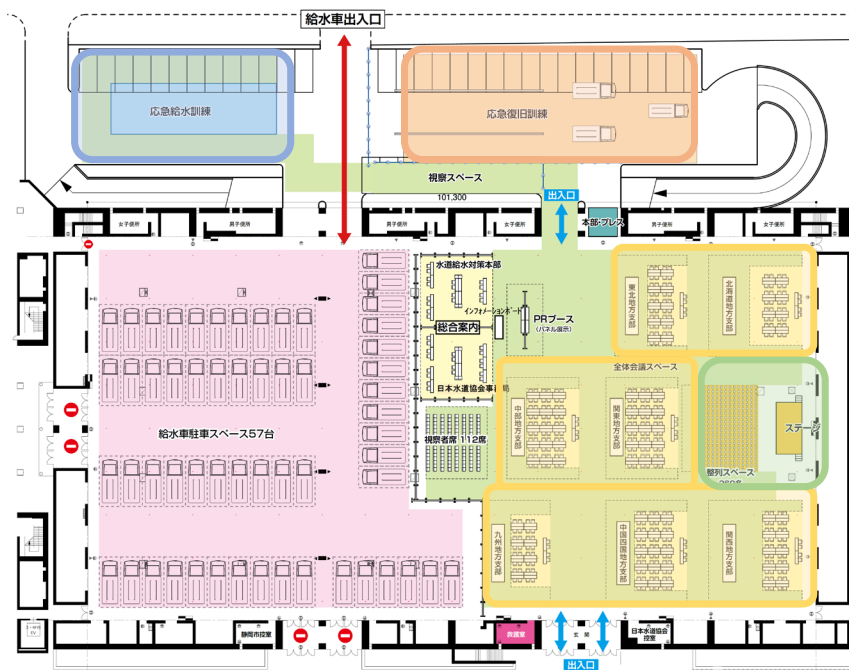
管種・継手															
被害形態	継手抜け	継手漏水	継手破損	管体破損	属具破損	その他	不明	継手抜け	継手漏水	継手破損	管体破損	属具破損	その他	不明	
口径	40mm														
	50mm														
	75mm														
	100mm														
	125mm														
	150mm														
	200mm														
	250mm														
	300mm														
	350mm														
	400mm														
	500mm														
	600mm														
	700mm														
	800mm														
	mm														
mm															
mm															
小計 (件)															
管路延長 (k m)															
被害率 (件/k m)															

合計	継手抜け	継手漏水	管体破損	継手破損	属具破損	その他	不明							
管路全延長 (k m)														
被害率 (件/k m)														

1.6 応援訓練の内容

1.6.1 訓練のアウトライン

位置図



1日目(11/6)

<p>参集訓練</p>	<p>【実施内容】 訓練参加水道事業者が、給水車・サポートカー等で静岡市へ参集する。</p> <p>【訓練のねらい】 他水道事業者への応援派遣に必要な準備や人員体制を確認する。</p>
<p>中継水道事業者 活用訓練 ※事前調整を行った一部のみが実施</p>	<p>【実施内容】 参集訓練において、中継水道事業者の施設を活用する。</p> <p>【訓練のねらい】 中継水道事業者施設の受入体制の確認を行う。</p>
<p>応援水道事業者 受入訓練</p>	<p>【実施内容】 現地に到着した応援水道事業者は、随時、静岡市水道給水対策本部に到着を報告する。 (於: ツインメッセ静岡 南館大展示場) (様式)〔資料-6〕応急給水応援体制報告書、〔資料-11〕応急復旧応援体制報告書</p> <p>【訓練のねらい】 水道給水対策本部の受入体制を確認する。 手引きに基づく様式を使用し、手引きの周知と実効性の確認を行う。</p>
<p>-15:30</p>	<p>(30分) 移動(バス)・準備</p>
<p>16:00- 17:00</p>	<p>水道給水対策本部運営訓練 1) 幹事応援水道事業者 会議 (60分)</p> <p>【実施内容】 静岡市水道給水対策本部から幹事応援水道事業者に対して被災の情報を報告し、作業指示を行う。 (於: 静岡市上下水道局庁舎) (様式)〔資料-7〕(表)応急給水作業指示書、〔資料-10〕水道施設被害状況等調査票</p> <p>【訓練のねらい】 地方支部長が幹事応援水道事業者になることを想定し、水道給水対策本部→幹事応援水道事業者の作業指示の流れを確認する。 手引きに基づく様式を使用し、手引きの周知と実効性の確認を行う。 水道給水対策本部(被災水道事業者)から応援側への被害状況の共有や作業指示に必要な情報の整理を行う。</p>

2日目(11/7)

8:30- 8:50	開会式 (20分)	<p>【実施内容】 ホール内 ステージ前に地方支部ごとに整列する(起立)。 開催地代表挨拶、来賓紹介、開会宣言、受入式を行う。 受入式では、地方支部長都市代表から開催地へ参集報告を行う。</p>				
(15分) 移動・準備						
9:05- 10:15	水道給水対策本部運営訓練 2) 応援水道事業体 全体会議 (70分)	<p>【実施内容】 地方支部ごとの応援水道事業体全体会議を実施する(10分程度×7)。 (於: ツインメッセ静岡 南館大展示場 地方支部会議スペースにおいて順次行う) 幹事応援水道事業体から地方支部内の応援水道事業体(応急給水班、応急復旧班)に対して、被害の状況を共有し、作業指示を行う。 (様式)〔資料-7〕(表) 応急給水作業指示書、〔資料-10〕水道施設被害状況等調査票</p> <p>【訓練のねらい】 地方支部長が幹事応援水道事業体になることを想定し、幹事応援水道事業体→応援水道事業体(応急給水班、応急復旧班)の作業指示の流れを確認する。 手引きに基づく資料を使用し、手引きの周知と実効性の確認を行う。 事務局が作成したシナリオをベースに、地方支部の裁量で県支部等への被災の情報共有や作業指示を行うことで、地方支部ごとの違いや工夫などを共有する機会とする。</p>				
(15分) 移動・準備						
10:30- 13:30 (昼食休憩1時間)	応急給水訓練 (120分)	<p>■ 応急給水訓練 【実施内容】 小学校(4か所)において、28班が応急給水活動(給水車からの給水)を行う。 病院(6か所)において、28班が応急給水活動(受水槽へ給水)を行う。 ツインメッセ静岡屋外において、名古屋市上下水道局及び静岡市上下水道局が応急給水活動(仮設給水槽へ給水)を行う。 雨天時には、晴天時に小学校で応急給水訓練を実施する予定だった一部の班が、指示のあった給水拠点までの経路を確認し赴く。</p> <p>【訓練のねらい】 水道給水対策本部及び幹事応援水道事業体からの作業指示書に基づき、給水拠点まで赴くことで、経路案内資料の実用性を確認し、課題抽出の機会とする。 市民等を対象とした応急給水活動では、水道事業体としての災害の取組や住民の自助を促すPRの場とする。</p> <p>■ 応急復旧訓練 【実施内容】 応急復旧班(15班)が、破損した配水管修理を実施する。(於: ツインメッセ静岡 南館大展示場横駐車場)</p> <p>【訓練のねらい】 応急復旧作業の技術力の向上と復旧手法を共有する機会とする。</p> <p>■ 災害対策方法等情報交換会 【実施内容】 各地方支部で行っている災害対策方法等について、各支部15分(質疑応答含む)で発表を行う。 (於: ツインメッセ静岡 南館大展示場 ステージ)</p> <p>【訓練のねらい】 各地方支部の地震等災害時への取組を発表していただくことで、各地方支部の日頃の取組を全国で共有する機会とする。</p>				
(15分) 移動・準備						
11:00- 13:30 (昼食休憩1時間)	災害対策方法等情報交換会 (105分)					
13:45- 14:45	報告書作成訓練 (60分)	<p>【実施内容】 応援水道事業体全体会議で受けた作業指示の報告書を作成する。(於: ツインメッセ静岡 南館大展示場 地方支部会議スペース)※手書き その他、本訓練での気づきの共有を行う。 (様式)〔資料-7〕(裏) 応急給水作業報告書、〔資料-10〕水道施設被害状況等調査票、〔資料-14〕管路修理報告書</p> <p>【訓練のねらい】 応援水道事業体(応急給水班、応急復旧班)→幹事応援水道事業体への報告の流れを確認する。 手引きに基づく様式を使用し、手引きの周知と実効性の確認を行う。</p>				
(15分) 移動・準備						
15:00- 15:30	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="303 907 454 974">応急給水活動 報告訓練</td> <td data-bbox="454 907 598 974">応急復旧活動 報告訓練</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="303 974 598 974">閉会式 (30分)</td> </tr> </table>	応急給水活動 報告訓練	応急復旧活動 報告訓練	閉会式 (30分)		<p>【実施内容】 ホール内 ステージ前に地方支部ごとに整列する(起立)。 応急給水・応急復旧活動報告訓練、講評、閉会宣言を行う。 応急給水・応急復旧活動報告訓練では、幹事応援水道事業体(地方支部長)から静岡市水道給水対策本部へ訓練の完了報告を行う。</p> <p>【訓練のねらい】 幹事応援水道事業体→水道給水対策本部への報告の流れを確認する。 手引きに基づく様式を使用し、手引きの周知と実効性の確認を行う。</p>
応急給水活動 報告訓練	応急復旧活動 報告訓練					
閉会式 (30分)						
	帰還訓練	<p>【実施内容】 訓練参加水道事業体が、給水車・サポートカー等で所属水道事業体へ帰還する。</p> <p>【訓練のねらい】 他水道事業体への応援派遣に必要な準備や人員体制を確認する。</p>				

1.6.2 参集訓練・中継水道事業体活用訓練・受入訓練

参集訓練・受入訓練の状況を写真1、2に示す。参集訓練では、訓練参加水道事業体が、給水車、サポートカー等で被災水道事業体へ参集し、他水道事業体への応援派遣に必要な準備や人員体制を確認した。また給水車は指定の充水作業場所にて充水後に参集した。受入訓練では、現地に到着した応援水道事業体が静岡市水道給水対策本部へ到着した旨を報告するとともに、水道給水対策本部は受入体制を確認した。中継水道事業体活用訓練では、訓練参加水道事業体の参集に際して、中継水道事業体を活用し、中継水道事業体施設の受入体制を確認した。中継水道事業体活用訓練は、事前調整を行った一部の訓練参加水道事業体のみが実施した。なお、応援水道事業体のうち出発式を実施した水道事業体もあった。出発式の様子を写真3～6に示す。



写真1 指定施設への参集訓練状況



写真2 給水車の受入訓練状況



写真3 出発式の様子（名古屋市）



写真4 出発式の様子（岡山市倉敷市混成班）



写真5 出発式の様子（米子市鳥取市混成班）



写真6 出発式の様子（福岡市）

1.6.3 水道給水対策本部運営訓練（幹事応援水道事業体会議・応援水道事業体全体会議）

水道給水対策本部運営訓練では、幹事応援水道事業体会議と応援水道事業体全体会議を実施した。幹事応援水道事業体会議の状況を写真7、8に示す。幹事応援水道事業体会議では、静岡市水道給水対策本部から幹事応援水道事業体に対して被災の状況を報告し、作業指示を行った。訓練を通じて、地方支部長が幹事応援水道事業体になることを想定し、水道給水対策本部から幹事応援水道事業体への作業指示の流れを確認した。

なお、幹事応援水道事業体会議において静岡市上下水道局が使用した資料は参考資料4.5.1（P4-57）を参照していただきたい。



写真7 水道給水対策本部（静岡市）



写真8 幹事応援水道事業体会議実施状況

応援水道事業体全体会議の状況を写真9、10に示す。応援水道事業体全体会議では、地方支部ごとの応援水道事業体全体会議を実施した。本訓練では地方支部長が幹事応援水道事業体になることを想定し、幹事応援水道事業体から応援水道事業体（応急給水班・応急復旧班）への作業指示の流れを確認した。



写真9 応援水道事業体全体会議の会場



写真10 応援水道事業体全体会議実施状況

1.6.4 応急給水訓練

応急給水訓練の状況を写真 11～14 に示す。応急給水訓練では、小学校（4 か所）において 28 班が応急給水活動を行った。病院（6 か所）において 28 班が応急給水活動を行った。またツインメッセ静岡では、名古屋市上下水道局の仮設給水槽を使用して、応急給水活動を行った。

水道給水対策本部及び幹事応援水道事業者からの作業指示書に基づき、給水拠点まで赴くことで、経路案内資料の有効性を確認し、課題抽出の機会とした。市民等を対象とした応急給水活動では、水道事業者としての災害の取組や住民の自助を促す PR の場とした。

なお、応急給水訓練において、静岡市上下水道局が各小学校の講義で使用した資料は参考資料 4.5.2（P 4-60）を参照していただきたい。



写真 11 応急給水訓練実施状況



写真 12 応急給水訓練講義の様子



写真 13 病院の受水槽への応急給水状況



写真 14 仮設給水槽への応急給水状況

1.6.5 応急復旧訓練

応急復旧訓練の状況を写真 15、16 に示す。訓練参加水道事業者のうち、希望する応援水道事業者を対象に、応急復旧班（15 班）が破損した配水管修理を実施した。訓練を通じて、応急復旧作業の技術力の向上と復旧手法を共有する機会とした。



写真 15 漏水補修金具設置状況



写真 16 カバージョイント設置状況

1.6.6 報告書作成訓練

報告書作成訓練の状況を写真 17、18 に示す。報告書作成訓練では、応援水道事業者全体会議で受けた作業指示の報告書を作成した。応援水道事業者（応急給水班・応急復旧班）から幹事応援水道事業者への報告の流れを確認した。訓練を通じて、手引きの周知と実効性を確認した。



写真 17 報告書作成訓練実施状況



写真 18 報告書作成訓練実施状況

1.6.7 帰還訓練

帰還訓練の状況を写真 19、20 に示す。訓練参加水道事業者が給水車、サポートカー等で所属水道事業者へ帰還した。訓練を通じて、被災水道事業者から帰還する際の時間やルートを確認した。



写真 19 応援水道事業者帰還状況



写真 20 応援水道事業者帰還状況

1.7 訓練に関する広報

1.7.1 災害対策方法等情報交換会

災害対策方法等情報交換会の状況を写真 21、22 に示す。各地方支部で行っている災害対策方法等について、パワーポイントを用いて各支部 15 分（質疑応答含む）で発表を行った。発表を通じて、各地方支部の日頃の取組を全国で情報共有する機会とした。

なお、各地方支部の発表資料については、参考資料 4.12（P 4-138）を参照していただきたい。



写真 21 情報交換会実施状況



写真 22 情報交換会実施状況

1.7.2 日本水道協会の広報

日本水道協会では、本訓練に関する情報を日本水道協会ホームページ上にて公開し、全国地震等緊急時訓練に関する情報を水道事業者及び一般市民向けに発信した。全国地震等緊急時訓練関連の特設ページにリンクされている以下のバナーを日本水道協会ホームページのトップページに設置した。特設ページでは、平成 29 年度情報伝達訓練と本訓練に関する情報を随時掲載した。



図 1.4 全国地震等緊急時訓練 関連情報バナー
(出典：日本水道協会ホームページ)

地震等緊急時対応

■ 日本水道協会 全国地震等緊急時訓練

【目的】

日本水道協会では、水道界が総力を挙げて対応した阪神・淡路大震災における応急給水と応急復旧の問題点を整理し、平成8年に「地震等緊急時対応に関する報告書」を作成した。その後、度々重なる大地震で得られた新たな知見や課題を基に改訂し、さらには東日本大震災の教訓により、広域化・長期化への対応の必要性が生じたことから、中継水道事業者や支援拠点水道事業者の役割を加え、現在の「地震等緊急時対応の手引き(平成26年3月版)」以下、「手引き」ということになった。

これまで、手引きを基に各地方支部単位での広域訓練は行われているものの、全国が一室に会しての広域訓練は行われていない。今後、東海・南海地震や首都直下地震等の発生が懸念される中、水道の被害シミュレーションを行い、「日本水道協会 全国地震等緊急時訓練」を実施する。これらをとらして、日本水道協会本部・各地方支部・各都府県支部・各地区協議会の役割の確認及び連携強化を図り、大規模地震に備えることを目的とする。

※本訓練は、地震等緊急時の広域体制及び広域訓練実施方法を検討するために設置された**地震等緊急時対応特別調査委員会(広域体制検討小委員会、訓練実施方法等検討小委員会)**での検討を踏まえ実施する。

【効果】

- 広域的な大規模災害における日本水道協会組織(本部、地方支部、都府県支部、地区協議会)の役割の確認・連携強化
- 広域的な大規模災害に対する広域体制の整備
- 各水道事業者の災害への対応力の把握
- 全国広域訓練の実施及び国民へのPR
- 手引きの周知・充実

図 1.5 全国地震等緊急時訓練 特設ページ
(出典：日本水道協会 ホームページ)

水道の災害への取組
～ 全国訓練を実施しています ～

● 全国の水道事業者による相互応援のネットワーク。

● 懸念される巨大地震
広域・長期にわたる断水への対応が求められる

● そんな災害に備えるために、全国訓練を実施しています

● 平成29年度情報伝達訓練

● 平成30年度広域訓練

**水道事業の連携強化II
災害対応能力の向上II**

**日本水道協会 全国地震等緊急時訓練
平成30年度広域訓練**

目的

● 全国の水道事業者が一堂に会する機会から・・・

概要

● 実施スケジュール

● 実施要項

● 実施スケジュール

将来の災害に備えて
～ 1人1人ができること～

災害が発生すると水道が・・・

給水・復旧まで時間がかかります

キーワードは「1人1日3ℓ×3」

図 1.6 全国地震等緊急時訓練 PR 資料

1.7.3 開催地（静岡市上下水道局）の広報

開催地である静岡市では、上下水道局の広報紙「くらしと水」にて、本訓練の実施案内及び実施報告を第 32 号（平成 30 年秋号）及び臨時号（平成 30 年）にて一般市民向けに発信している。静岡市上下水道局の広報紙「くらしと水」は、web 版を静岡市上下水道局のホームページにて公開している。

静岡市上下水道局

くらしと水 Web版

第32号
平成30年
秋号

“Life&Water” in Shizuoka since 2003

全国初 水道の応援訓練を実施します！！

地震が起きて、ご家庭の水道が断水してしまったら…。そんな時、全国の水道事業者には、相互に応援するネットワークがあります。東日本大震災や熊本地震などでも、このネットワークを活用し応援活動を実施してきました。

そして、今年**全国初**となる応援訓練が静岡市で開催されることになりました。この訓練では、北は**北海道**から、南は**沖縄**まで全国60を超える市から給水車が駆けつけ、小学校や病院で給水活動や破損した水道管の応急復旧訓練を行います。メイン会場のツインメッセ静岡では、訓練の見学や給水体験もできますので、ぜひお越しください。

と き：11月7日（水）
時 間：10：30～13：30
と ころ：ツインメッセ静岡南館人展示場横駐車場
内 容：応急給水訓練（仮設給水槽への給水）
応急復旧訓練（破損した配水管の修理）

図 1.7 静岡市上下水道局広報紙での本訓練の案内
（出典：くらしと水 Web版 第32号）



【応急給水訓練】



【応急復旧訓練】

11月6日と7日、静岡市では「全国で使われている応援の手引きを使って、全国規模で災害対応の応援をすることができるのか？」を実証するための水道界初の大規模な応援訓練を実施しました！

南海トラフ巨大地震のような大地震が起きたことを想定して、全国60を超える都市の応援隊が静岡に集結！会議での情報共有の後、会場のツインメッセ静岡南館をはじめ、小学校や病院などで応急給水訓練や水道管の応急復旧訓練などを行いました。

応援訓練はトラブルなく行うことができましたが、応援の手引きで修正すべき点などについてこれからしっかりと検討していきます。



【情報共有会議】

図 1.8 静岡市上下水道局広報紙での本訓練の実施報告

(出典：くらしと水 Web版 臨時号)

1.7.4 訓練当日の広報

訓練当日は、日本水道工業団体連合会及び日本ダクトイル鉄管協会の関係団体、静岡市上下水道局、日本水道協会が各ブースにてポスター・パンフレット・市製作の水のペットボトル等を展示し、耐震管、破損した管路の補修金具等の地震等緊急時における対策について幅広くPRした。

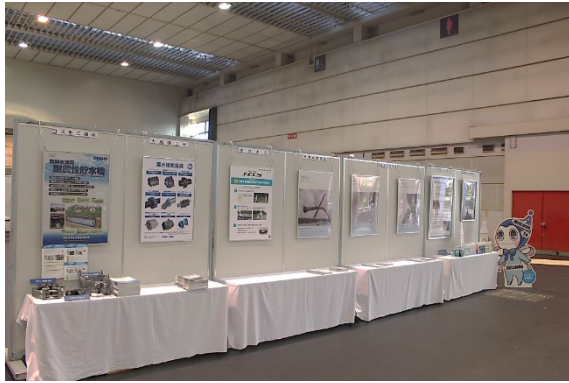


写真 23 訓練当日における広報の状況